

# 高齢者の個々の運転技能に応じた 交通安全対策事業

海南省 紀美野町

海草モデル事業



海南省



紀美野町

和歌山県海草振興局地域振興部

お問い合わせ

和歌山県海草振興局地域振興部総務県民課

TEL 073-441-3436

# 高齢者の個々の運転技能に応じた交通安全対策事業

## 1 事業目的

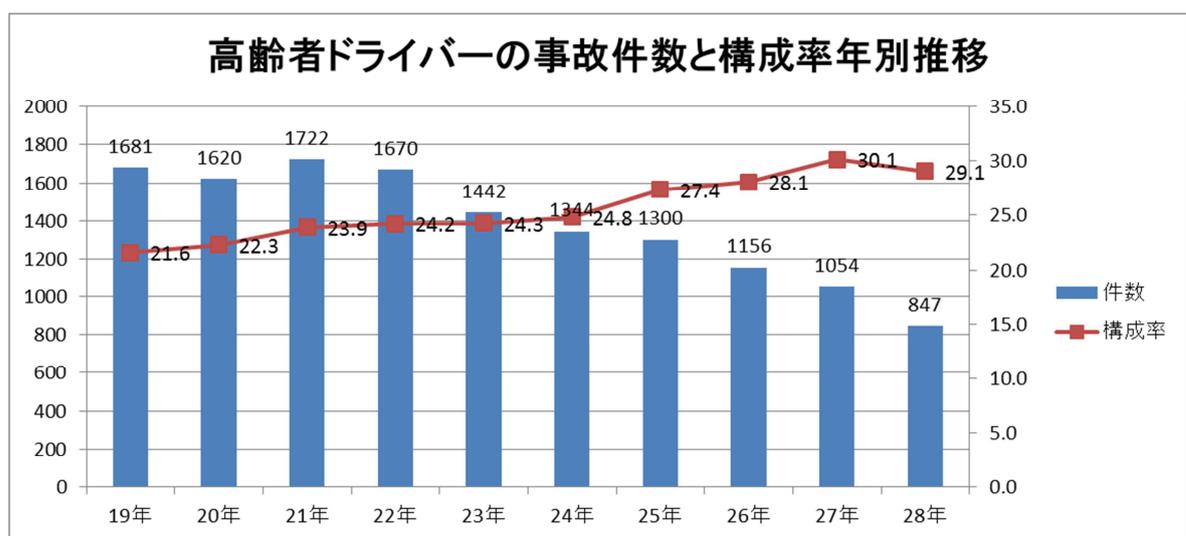
和歌山県では1970年代以降急速に高齢化が進み、2000（平成12）年の国勢調査では、高齢化率が21%を超える「超高齢社会」を迎え、2015（平成27）年の国勢調査では31%となりました。

本県の平成28年の高齢者免許保有者数は176,503人（平成19年122,367人）で全免許保有者に占める割合は26.2%（平成19年17.7%）であり、今後とも、保有者数、保有率共に増加し続けます。

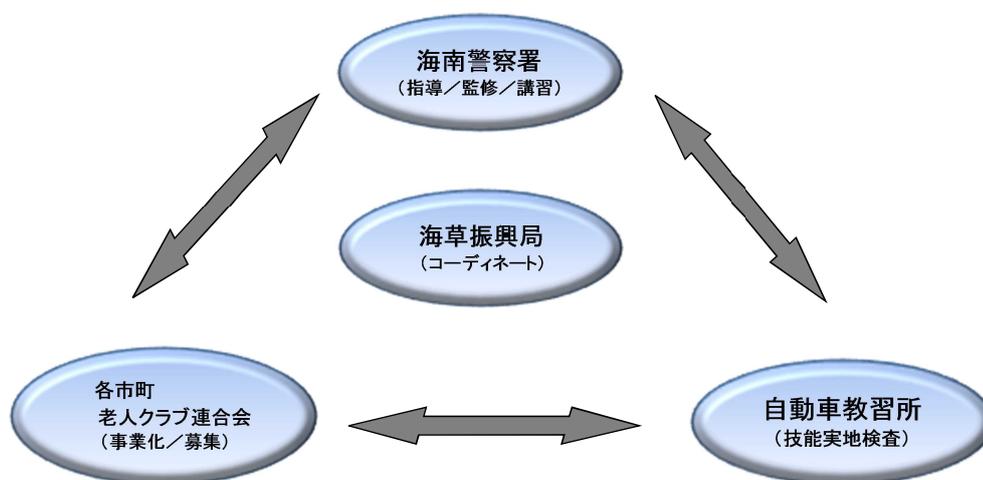
また、本県で平成28年中に発生した高齢運転者の交通事故件数は847件（内、海南警察署管内は31件）で減少傾向にあるものの、全事故件数に占める割合は増加傾向にあります。

和歌山県海草振興局では、高齢者及びその家族に現在の運転技能を正確に認識する気づきの機会を提供することで高齢ドライバーの加害事故を防止する体験型の高齢者交通安全教室の実施を平成28年度に提唱し、海南市及び紀美野町の老人クラブ連合会が主体となり、海南市、紀美野町、海南警察署及びライビング・スクールかいなんが協働で事業を実施しました。

## 和歌山県の高齢者ドライバー（65歳以上）事故の推移



(事業イメージ図)



## 2 事業内容

### (1) 特徴

- ・地域ぐるみ家族ぐるみで高齢者の事故防止を推進。
- ・海南市、紀美野町の老人クラブが主体。
- ・「ドライビング・スクールかいなん」は無償で協力。
- ・海南警察署が参加者と家族に対し個別アドバイスを実施。
- ・家族も一緒に個々の高齢者の運転技能を考える全国的にも珍しい実践型事業。

### (2) 事業内容

- ①参加者 18名/回 (少人数制できめ細かい講習)
- ②会場 ドライビング・スクールかいなん
- ③実施時期 ドライビングスクールと協議の上決定
- ④事業全体のスケジュールと役割分担

時期	項目	役割分担
開催3ヵ月前	開催日の決定	県
	事業内容の説明	県

開催2ヵ月前	事前打ち合わせ	全員
開催 1～2ヵ月前	参加者の募集、 参加者名簿の作成	市町老人クラブ連合会
《開催当日》	事前準備	県、市町老人クラブ連合会、 ドライビングスクール
	参加者引率	市町老人クラブ連合会
	事業運営	全員
開催1ヵ月後	参加者アンケート調査の 集計、分析	県
開催 3～4ヵ月後	家族を交えてのフォローアッ プ講習	参加者名簿作成：市町老人クラ ブ連合会 運営：市町老人クラブ連合会、 県 講習：海南警察署
開催 4～5ヵ月後	事業効果検証	県、市町老人クラブ連合会

⑤開催当日の日程

事業内容	時間帯
(ア) 参加者の受付	9：40～
(イ) 講習会全体の説明	10：00～
(ウ) 海南警察署による交通安全講話	10：20～
(エ) CRT運転適性検査	} 3名×6班 体制
(オ) 運転の実技講習(教習所指導員による指導)	
(カ) 技能チェック結果を踏まえての海南警察署による個別助言	13：50～

### ■ (エ) C R T運転適性検査

高齢運転者の特性については、年齢や体力、過去の経験等によって大きな個人差が認められるものの、一般的に、

- ・視力等が弱まることで周囲の状況に関する情報を得にくくなり、判断に適切さを欠くようになること
  - ・反射神経が鈍くなること等によって、とっさの対応が遅れること
  - ・体力の全体的な衰え等から、運転操作が不的確になったり、長時間にわたる運転継続が難しくなったりすること
  - ・運転が自分本位になり、交通環境を客観的に把握することが難しくなること
- などが挙げられています。(平成29年版交通安全白書より)

C R T運転適性検査で、運転上の特性・認知・判断・操作能力の把握を行い、動体視力、夜間視力の検査や視野測定も併せて実施。

また、反射神経をゲーム感覚で測定できる機器を用意(警察署)し、休憩時間を利用し、自由に測定を行います。



### ■ (オ) 運転の実技講習

教習所のコースを利用し、1人10～15分間の実技講習を実施。

教習所の指導員が同乗し指導を行い、「運転実技チェックシート」により、

①信号機のある交差点②一時停止標識のある交差点③進路変更④カーブ走行⑤その他の課題に分け、全19項目のチェックを実施。

特に重要な9項目の内、過半数の5項目以上に要指導がある人を中心に、フォローアップ講習を実施。



■（カ）海南警察署による個別助言

CRT運転適性検査と運転実技検査を踏まえて、警察官と教習所指導員による個別の助言を実施。家族も同席し、参加者の運転技能について考える機会を持ちます。



■フォローアップ講習

警察署による交通安全講話の後、家族にも同席していただき受講後の運転を振り返り自由に話し合いを行います。自身の運転を振り返ることや安全運転について話し合うことで、安全運転意識の向上を再確認します。

## ⑥事業フロー図

警察署・民間事業者等との協働による高齢者交通安全対策事業  
 ～地域ぐるみ、家族ぐるみで高齢者ドライバーの交通事故防止！～



◎目的  
 ～あなたの安全、家族の安心～  
 ◆高齢者ドライバーの交通事故防止の推進

●事業のポイント  
 ① 対象を高齢者ドライバーに特化  
 ② 実践型の講習と個別指導  
 ③ 家族ぐるみで交通安全の取組

●老人クラブ連合会の恒例行事に  
 年間事業計画の一つとしてスタート！

### 《事業フロー》

ステップ①  
 老人クラブ連合会

【参加者の募集・受付】  
 ◇事前申込  
 ◇定員18名  
 ◇家族の同伴可



ステップ②  
 海南警察署

【高齢者交通安全講習】  
 ◇高齢者ドライバー  
 事故の傾向と対策



ステップ④  
 D・Sかいなん

【運転実技チェック】  
 ◇車を運転して指導員から  
 助言



ステップ⑤  
 海南警察署

【個別アドバイス】  
 ◇技能チェック結果を踏まえて  
 の個別指導（家族の同席可）



ステップ③  
 D・Sかいなん

【CRT運転適性チェック】  
 ◇ハンドル操作、  
 ブレーキ反応チェック等



ステップ⑥  
 海南警察署

【家族を交えての個別面談】  
 ◇講習参加者及びその家族  
 を対象



家族と一緒に考えよう！

安全運転の再確認 又は 必要に応じて免許証返納

